



うしくぬまのこはんを
おかあさんとドライブし
ていたときのことだっ
た。

「むかし、ここにおしろ
があったんだよ」

と おかあさん。

「なんというおしろな
の？」

と なっちゃん。

「東林寺城とうりんじじょうといったかな」

「どんなおしろだった
の？」

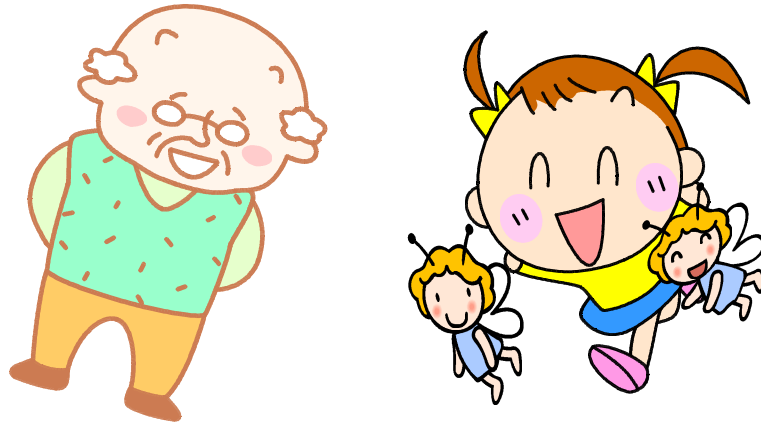


「ん～、くわしいことはわからないんだ。おじいちゃんにきいてごらん」

「そうか、よーし。きいてみよう」

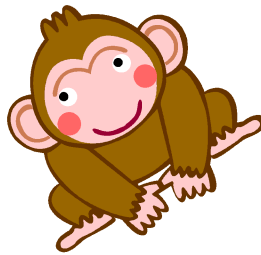
わくわく
どきどき

そのとき、ようせいがあらわれて、おじいちゃんのところにつれていってくれた。



なっちゃん、ものをよ
ーくしっている おじい
ちゃんが、だーいすき。

あれあれ、これはおもしろそうと、な
ぜなぜくんが、もりからあそびにきたよ。
どこかな？

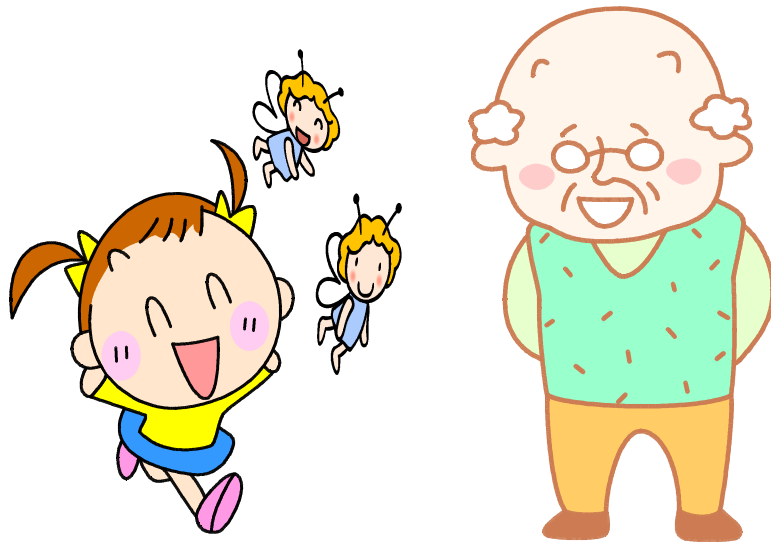


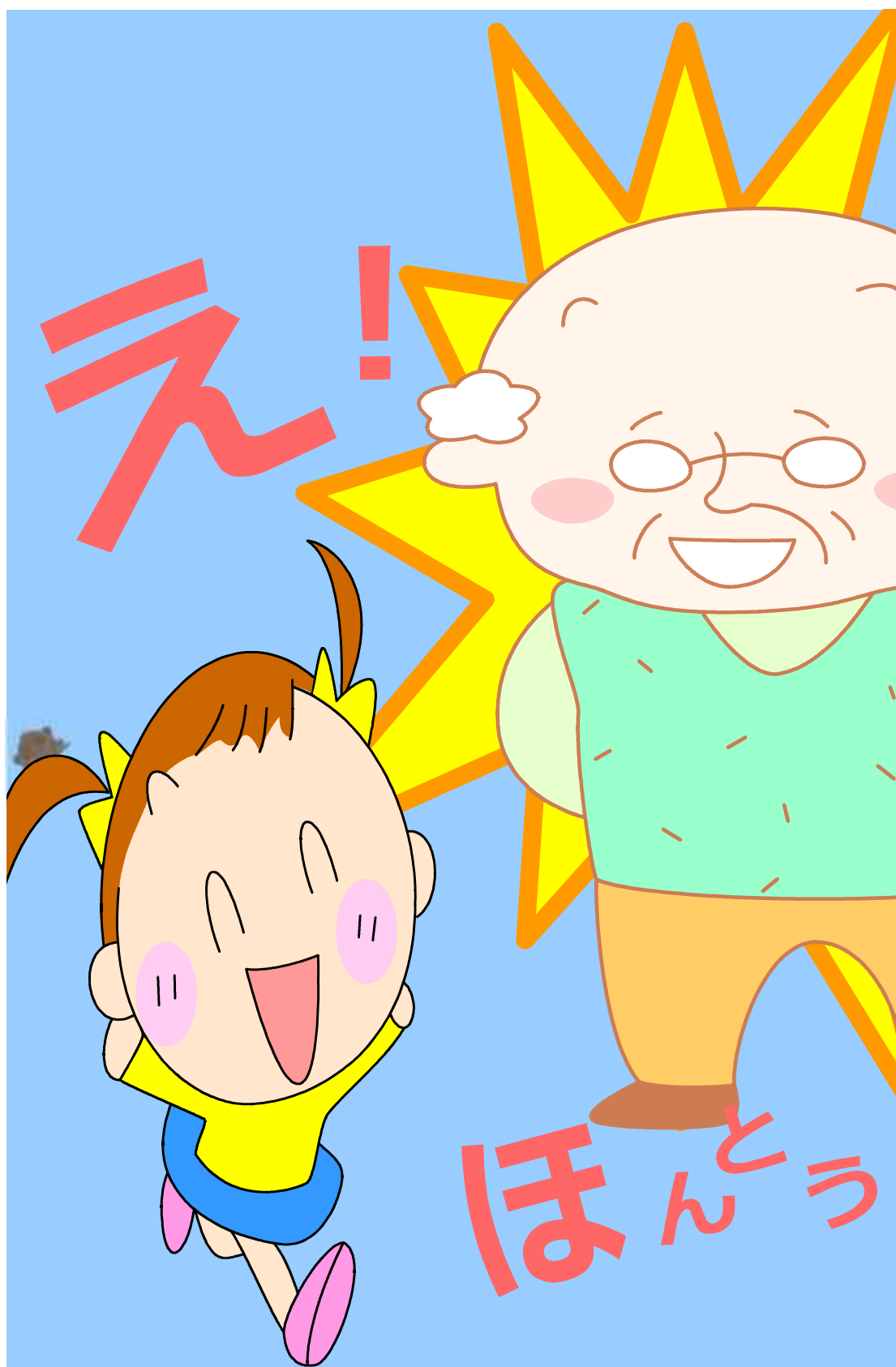
わたしは、なぜなぜでーす。

おじいちゃんに
きいてみると

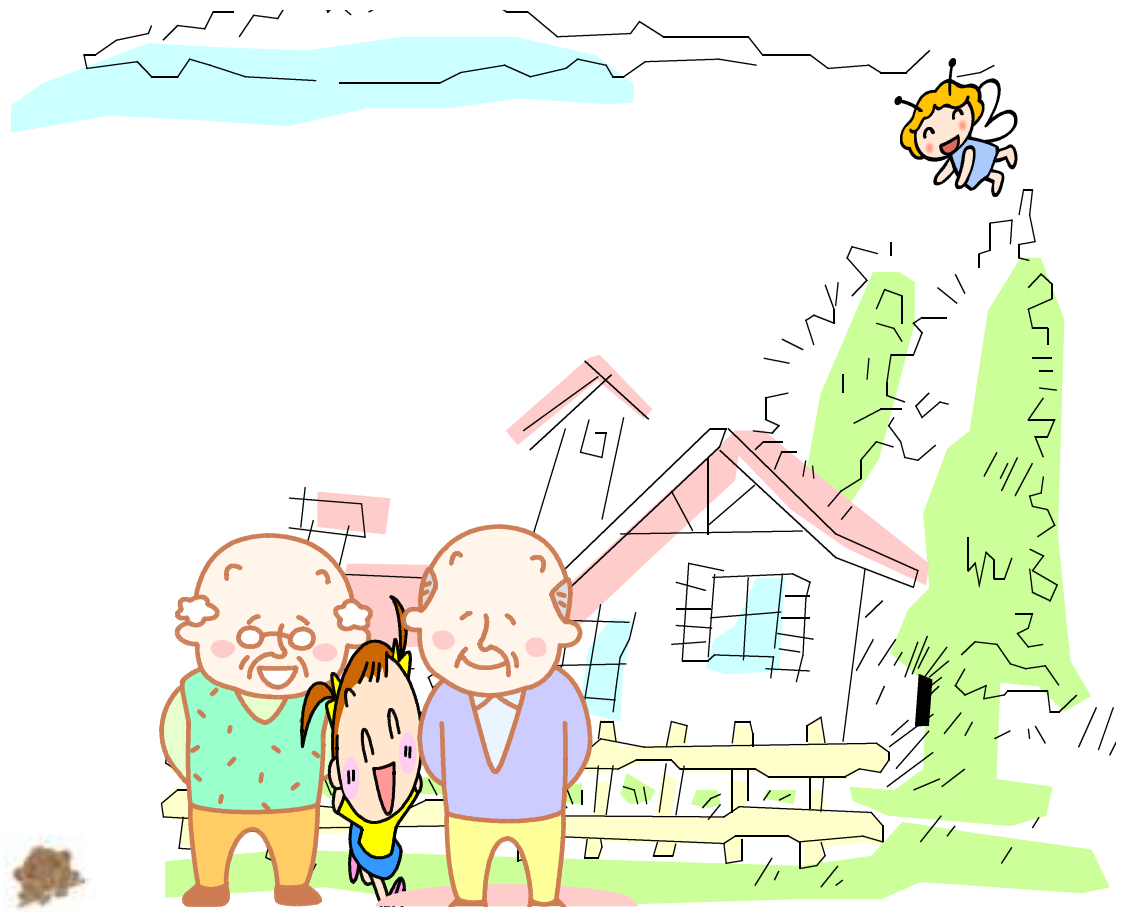
「そうだなー、むかし、牛久城うし くじょうがあって、そのしじょうとしてつくられたそうだよ。でもね、このくらいしかわからないから　くわしいことは、あきおさんにきいてみようか。

いっしょに　いってあげるよ。





やくそくのひ。おじいちゃん
とあきおさんのいえにいった。



なっちゃん、ゆうきをだして、
「東林寺城とうりんじじょうのことをおしえて
ください」
と おねがいた。すると、
東林寺城とうりんじじょうに つれていってく
れた。

おてらのちゅうしゃじ
ようにとめて、あるくこ
とになった。せまいさか
みちをあがっていくと

はあはあ



いきが、きれてきた。

これじゃ、のぼるだけ
でたいへんで、たたかい
にならないわ。

やっと、てっぺんまでのぼると、めのまえにうしくぬまが、ひろがっていた。



1560 ねんころに岡見^{おかみ}氏がしろをつくり、しろがなくなったのは1590ねん。このやく30ねんかにどんなことがあったのかな？

こんなかんばんがあった。
「なんて、かいてあるの？」



東林寺城は、岡見氏によつて牛久城のしじょうとしてつくられたしろ。おおきなじょうかくが、あるとかかかっているんだよ。

「じょうかくって、なーに？」
そうね。じょうかくはね、ひ
ろいかこいで、かこまれたば
しよをいうんだよ。
「どこにあるの？」ここだよ！



ここには、どばしとうまだしがあるんだ。せつめいしようね。



どばし は、からばりをおうだんするつうろだ。



うまだし は、くるわのいりぐち（虎口）のまえにちいさなすぺーすをおいて、てきをさそいこむばしよだ。そうすることで、てきをやぶることができるんだ。

「へ～、そうなんだ」

びっくり！



つぎに、くるわとどるいと
からぼりをせつめいしようね。

1のくるわ

さかをあがったところにあるよ。



あれあれ、せまい！
どうして？

1 のくるわのつちやすなをとってしまったんだ。
(けずられたところは、まえのページのずのとおり)

1 のどるいは、どこ？
ここだよ。

つちがたかくなっているところだ。



どうしてどるいをつく
ったの？それはね・・・。



い
と
う
こ
と
な
ん
だ
よ。
こ
の
し
や
し
ん
は、
1のほ
りだよ。



2のくるわ

おしろも東林寺も、ここにあるよ。てんしょう
10ねんだいの岡見氏本知行
等覚書写（もとからあったりょうちをわすれない
ようにかきのこしたもの）には、とのさ
まが岡見治広のおとうとが、
城主とかかかっているんだ。

そうなんだ。



びっくり!

そういえば、おくにある小坂
城も岡見氏のおしろだったんだ。

2のくるわのどるい



2のくるわのからぼり



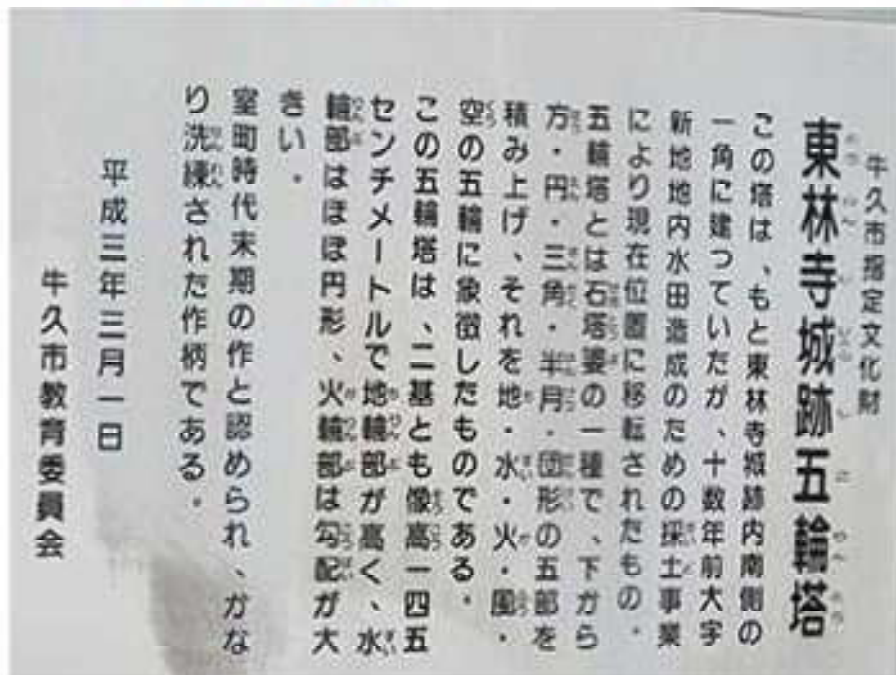
それだけじゃないんだ。

東林寺には、しろあとでみつかったせんごくじだい^{とうりんじ}のものとみられる五輪塔^{ごりんとう}（おほか）が2きうつされ、市指定のぶんかざいになっているんだ。



五輪塔^{ごりんとう}ってだれのおはかなの？

こんなかんばんが、たっていたよ。



5りんのとうのせつめいだ。



東林寺だ。

2・3のくるわをつなぐ土橋

(せまいみちにして、てきがとおりづらくした。そこで、ねらいうち)



3のくるわの空堀

(てきをふせぐときにはったみぞやあな。そこで、ねらいうち)



これじゃ、きゅうすぎて、
くるわにせめていけないよ！
う し く じ ょ う
牛久城のしじょうとはおも
えないりっぱなじょうかくだ。

びっくり！



そのとき、なつちや
んは、ふしぎなあなに
すーっと おちていっ
た。

そこでは、たたかいが、
はじまろうとしていた。

わーわー
わーわー



びっくり!



さむらいのさけびごえ!

やあー
やあー

てきが、どばしを わ
たってきたぞ!

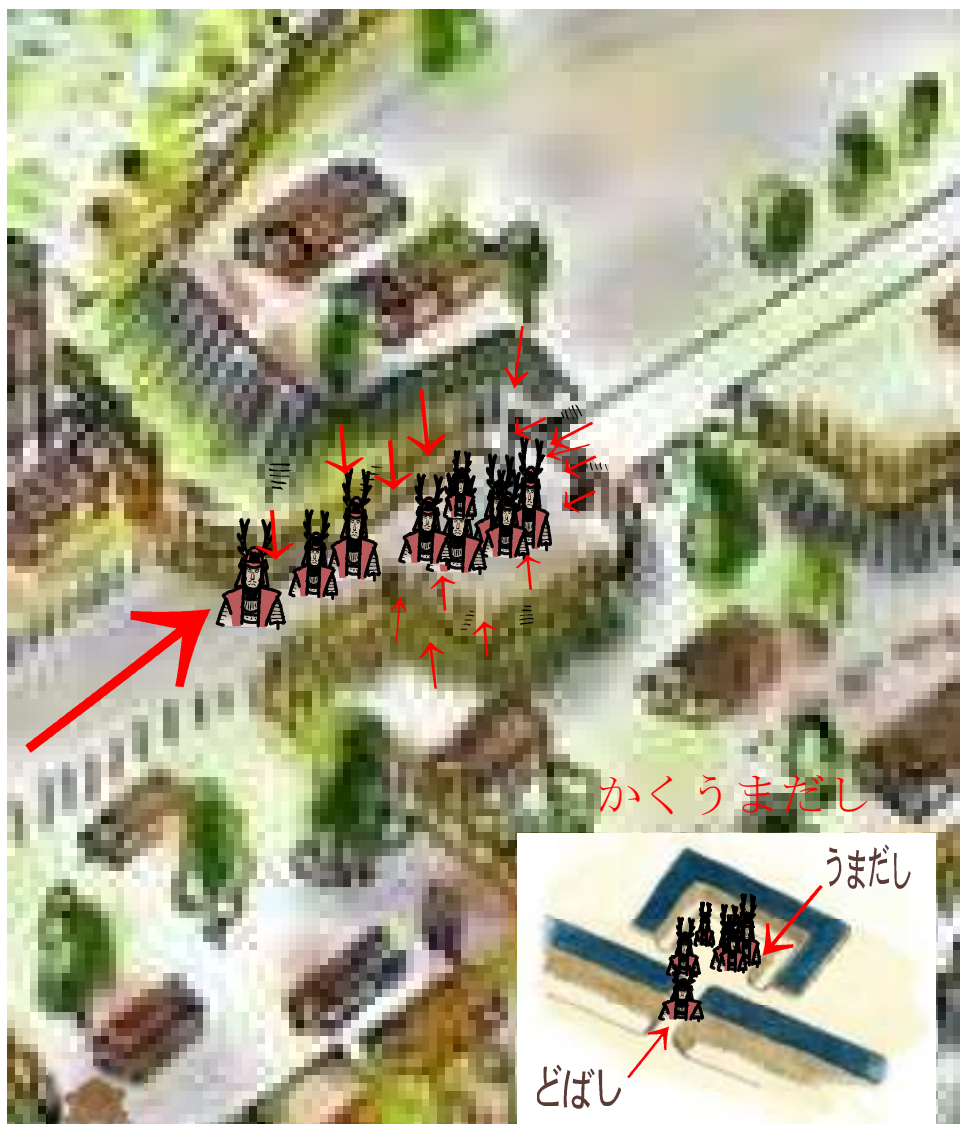
よーし、いまだ！やを
はなて！



2のくるわと3のくるわをむすぶどぼし

ぴゅん ぴゅん

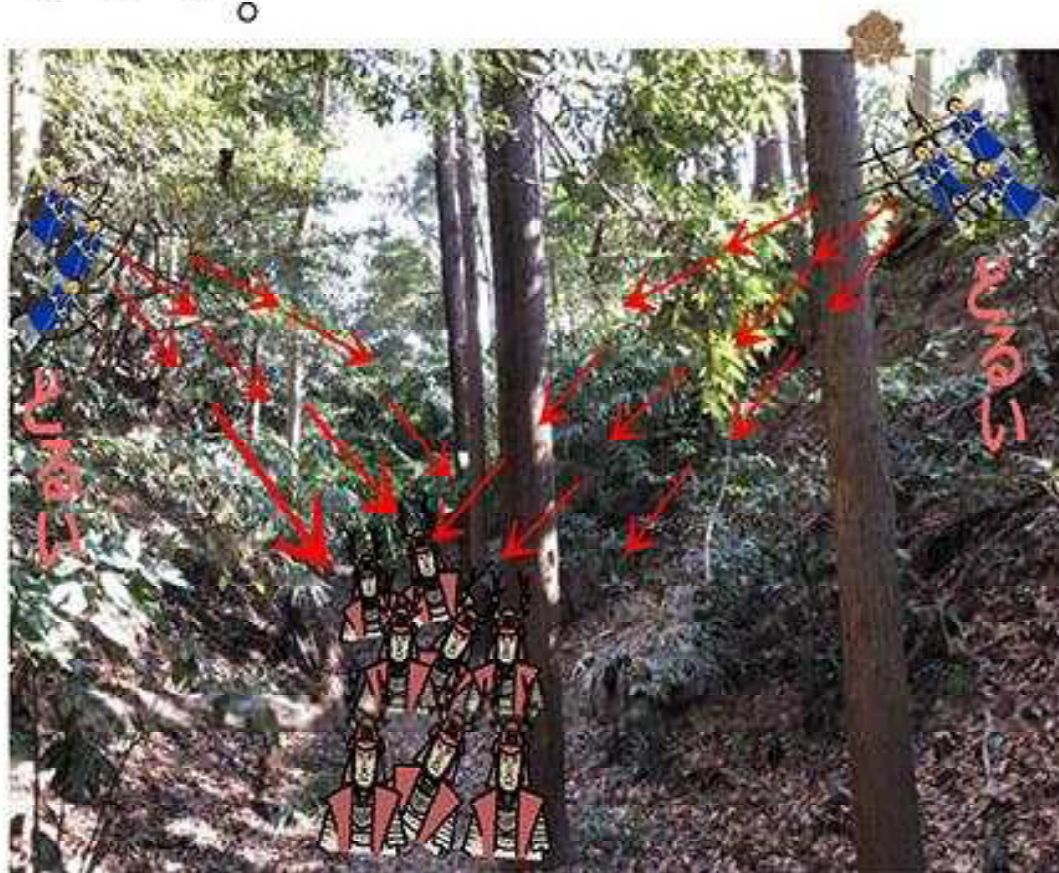
たすけてー



さらに、うまだしに
はいつて・・・

ぴゅんぴゅん
たすけてー

3のくるわと4のくるわの**からぼり**（みずのないほり）では、どるいから やで、てきをこうげき
・・・。



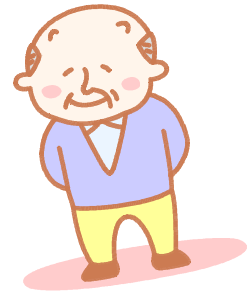
どるいから ねらいうち
だ。これはたまらん。
たすけてー

びっくり!

すごーい!



これが、東林寺城のつ
よいひみつなんだ。



※ここでクイズ。

じゃ、じゃーん。

1 5 6 4ねんにこのし
ろにきたゆうめいなせん
ごくだいまようは・・・
だれかな？

こたえは、さいごに。

そのときだった。はず
みで

「ばーん」と なっちゃん、あなからとびだした。

あ！もどれた。



びっくり!

とうりんじじょう

東林寺城のまもり

すごーい

なっちゃんが、みてきたことを **おじいちゃん**と**あきお**さんにはなした。すると、「それは、よかったね」と **あきお**さん。



じつはね。せんごくじだい
お か み し 岡見氏は、お だ し 小田氏からわかれ、
お だ し 小田氏めつぼうごは、ほ う じ よ う し 北条氏の
なかまになって、た が や し 多賀谷氏
とたたかったんだ。

その**たたかい**の**さいぜん**
んが、なんと**なん**とう し く じ よ う牛久城と
と う り ん じ じ よ う東林寺城になったんだ。

びっくり!



そのため牛久城には牛久在
番衆ばんしゅう（じゅんばんにまもりについてたひとたち）
として北条氏ほうじょうしから はけんさ
れた井田氏いたしらがつめていたん
だ。

だからか？

東林寺城とうりんじじょうのひろいじょうか
くが、とおくからきたぐんぜ
いが、とどまることのできる
ようなしろになっていたのか

・・・○

（えんぐんの北条ぐんほうじょうが、とどまることが、できるよ
うに）



「あ！そうか。だから、
おおきな**じょうかく**にし
ていたんだ。なっとく」
なっちゃん、にっこに
こ。



また、東林寺の過去帳（なまえ
くりに
や、なくなったひや ねんれいなどが、かいてある）に栗
林義長（くりばやしよしなが）のなまえがあるんだ。
栗林義長（くりばやしよしなが）といえば岡見氏の重
臣（しんわかがりじょう）で若栗城（わかぐりじょう）のとのさま。

関東の孔明（かんとくこうめい）ともいわれ、か
みがかかりてきなかつやくをし
た智将（ちしょうぐんき）。軍記（とうごくせんきじつろく）（東国戦記実録）には
そのかつやくが、いきいきと
えがかれているんだ。

女化稻荷神社（おなばけいなりじんじや）をたてたのも
このひとらしい。（おなばけにのこるみんな『キ
ツネのおんがえし』にでてくる八重の3なん、竹松（たけまつ）のこが栗林義長（くりばやしよしなが）
であるといういいつたえがあるんだ。）

びっくり!

だいたいこんなところ
かな、わかるのは・・・。

「でも・・・、さっきの
もんだいのこたえをきい
ていませんよ」

あ！そうだった。ごめ
んね。じつはね・・・。

1 5 6 4 ねん、あの^{う え す ぎ}**上杉**
^{け ん し ん}**謙信**が、つくばの^{お だ し}小田氏
をたおすための**じんしよ**

(しばらく、とどまったところ) としてつかっ
たんだ」



そうか。おくののかま
くらかいどうをとおって
東林寺城。そして小田城
をせめたのか！

びっくり！

「東林寺城は、牛久城の
しじょうだけど、たたか
いにかつための

ひみつが、
ぎゅぎゅっと



つまっていたんだ。

「やっぱり、東林寺城は、う
しくのたからものなんだね。
御城印もみつけたよ。」
と なっちゃん。にっ
こりわらって だいまん
ぞく。おじいちゃんのめにな
みだが きらり。💧



あきおさんにおれいをいっ
てかえった。つぎは、なにを
しらべようかな？

あれあれ？「すごーくたのしかった」と なぜなぜ
くん。つぎのひみつをもとめてスキップしながら か
えっていった。

またね

参考文献

- ・牛久市史 原始古代中世
牛久市史編さん委員会 編
- ・余湖くんのホームページ
- ・城びと 公益財団法人日本城郭協会 公認
- ・東林寺城 攻防団
- ・東林寺城 localactivate